

参考様式6（第7条関係・公表用）

提出された意見等の概要及び提出された意見等に対する対応

政策等の案の名称：

No.	提出された意見等の概要	対 応		修 正 内 容 (修正したとき)
		採用有無	理 由	
1	脱炭素達成を目的とするならば、ロードマップとして火力発電の縮小・原子力発電所の再稼働が必要になると思います。これは、生活・産業が成り立つ上では電力の安定供給が重要ですので、現在の技術では100%再生可能エネルギーへの転化は現実的ではないという考え方です。適切なエネルギーミックスという観点も必要ではないでしょうか。	無	段階的には適切なエネルギーミックスの達成が必要となろうかと考えます。ただし、エネルギーミックスというのは、大手電力などの発電業者が課せられる課題、取組であり、自治体が対策できるものではないと理解します。そういった観点では、自治体でできる取組として「再生可能エネルギーを活用して地域内でエネルギーの地産地消」を推進して参ります。	
2	太陽光にしろ、蓄電にしろ、他のエネルギーにしろ、それを開発・製造・敷設工事・維持管理・廃棄処分する役割が必要と考えます。特にメガソーラー案件では事業所として維持管理が義務付けられています。また、電気自動車や充電ステーションの維持管理	有	非常に重要な観点と考えます。再生可能エネルギーの導入やエネルギーの有効活用を検討する事業者との連携や助成制度の拡充などが今後重要になると考えます。	20ページ将来イメージの②に「再生可能エネルギーや新エネルギーの導入に積極的にチャレンジする事業者の育成・確保」という表現で追記します。

	にも新たなノウハウが必要です。電力がなくなると生活・産業に重大な支障をきたしますので、地元のインフラとして、地元で相談できる、困りごとをすぐに解決できる事業者の確保・育成が必要です。			
3	住民としては、これ以上露地の太陽光パネルが広がり、景観が損なわれるのは好ましくないと思います。水田については大雨時の保水機能にも影響します。農業については、作物の栽培による二酸化炭素の吸収効果や化石燃料を使用しない農機の開発・活用についても触れてはいかがでしょうか。	有	町としても景観を保ちつつ導入を推進することが肝要と考えております。また、CO2の吸収源として「土壌のCO2吸収」が有力な手法として注目され始めています。施肥方法や農法を工夫することで、温室効果ガスの排出を抑制でき、炭素を農地土壌に貯留できることがわかってきています。本町の主要産業である農業とも関連させながら前向きに検討させていただきます。	20ページ将来イメージの項目に『「持続可能な水田農業を支える大崎耕土の伝統的水管理システム」と調和し、景観配慮をしつつ導入を推進』という表現で追記します。
4	エネルギーを消費しない生活、エネルギーをつくる生活ができるまちづくりという観点はいかがでしょう。車に乗らずとも買い物や手続きができる、公園の遊具で遊びながら発電ができる、特定の家庭ごみや地	有	将来的には非常に重要な視点と考えます。後段の部分については、環境ステーションの具体施策に反映させていただきます。	23ページの具体施策に反映しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・住民との連携モデル ・家庭ごみの有効活用（ゼロウェイストの推進） ・企業や農業生産組合との連携モ

	場産業および農業の廃棄物で発電ができるなど、様々な発想が活かせる町であってほしいと思います。			デル（稲わらやもみ殻の有効活用）
5	太陽光や断熱に関する助成金を検討してはどうか。	無	再生可能エネルギーに対する助成制度等については、国や県の動向を見ながら前向きに検討させていただきます。	
6	本計画の推進体制、計画の進捗管理方法の記述を追加して明確にしてください。		本計画の進捗管理については、町民生活課が中心となり、町の組織が横断した形で連携して推進して参ります。	
	推進体制及び計画の管理方法の記述がありません。誰が推進するのでしょうか、どのように管理するのでしょうか。課を横断する推進組織が必要だと思われます。			
7	めざす将来像は、脱炭素シナリオ達成時のまちの将来イメージのほうが望ましいと考えます。 美里町総合計画・総合戦略（以下、総合計画という）に記載されている将来像を掲げていますが、脱炭素シナリオ達成時のまちの将来イメージもめざす将来像です。総合計画の将来像の内		本計画については、2050年カーボンニュートラル達成に向けた再生可能エネルギー導入目標を検討するとともに、再生可能エネルギーを活用した地域の課題解決、産業振興を推進することであり、総合計画の将来像を見据えながらそれぞれの目標達成に向け進めて参ります。	

	容は、必然性が乏しく共通理解されていません。また、実現に向かっていかどうかの計測が困難です。		
8	<p>SDGs 推進体制を早急に構築してください。また、総合計画に SDGs 達成への取組を追加して本町の姿勢を明確にしてください。</p> <p>SDGs の理念（8 頁）、SDGs の意識（19 頁）、SDGs の実現（図 5-6）など SDGs という語が出現しますが、本町は SDGs 達成への取組が不明確です。</p> <p>SDGs の各目標は、互いに繋がっており、部局を横断する推進組織の設置、執行体制の整備が必要です。</p>		<p>SDGs については持続可能な開発のための国際的な開発目標とされ、世界中にある環境問題や差別、貧困、人権問題といった課題を地球規模で解決していくことにあります。町の推進体制については、まずひとりひとりの職員が認識を新たにし、日々の生活を改め取り組んでいくことが大事であり、役場内の事務事業についてはカーボンマネジメント推進員会議等を通じながら、エネルギーの使用管理を行いながら、啓発活動に努め推進して参ります。なお、美里町地球温暖化対策実行計画の改定も含め、その活動を全町的に取り組んで参ります。</p>